

① 小さい<sup>くらい</sup>位から、位どりの読み方を漢字で書きましょう。

せんまん	ひゃくまん	じゅうまん	まん	せん	ひゃく	じゅう	いち
の位	の位	の位	の位	の位	の位	の位	の位

② 次の数を見て、何の位か漢字で書きましょう。

7	9	3	6	2	5	8	4
↑	↑	↑	↑				
□	□	□	□				
の位	の位	の位	の位				

① 上の数の 一万の位の数字を書きましょう。

② 上の数を全部漢字で書きましょう。

③ 次の数を読んで、漢字で書きましょう。

千万	百万	十万	万	千	百	十	一
----	----	----	---	---	---	---	---

①

5	9	2	7	4	3	6	8

②

1	9	3	5	4	8	0	0

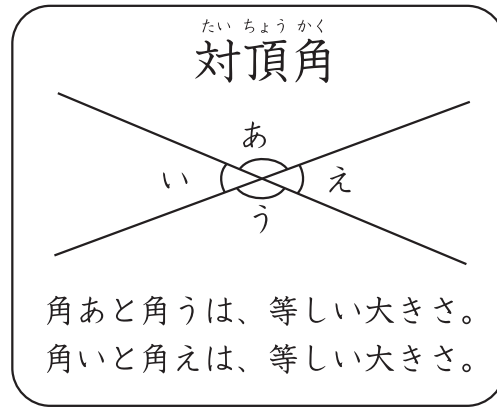
③

5	0	3	8	0	0	4	6

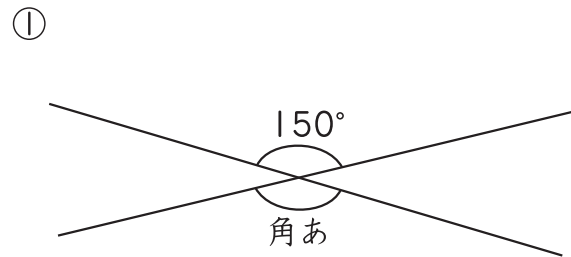
④

1	0	0	4	3	5	0	7

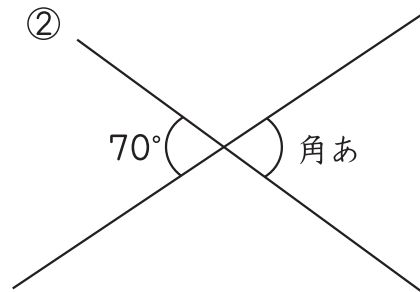
① 右の図のように、直線が交わっていくつかの角ができるとき、向かい合う角の大きさは等しいというきまりがあります（この向かい合う角を対頂角といいます）。これをもとに、次の①～④の図の「角あ」の角度を求めましょう。



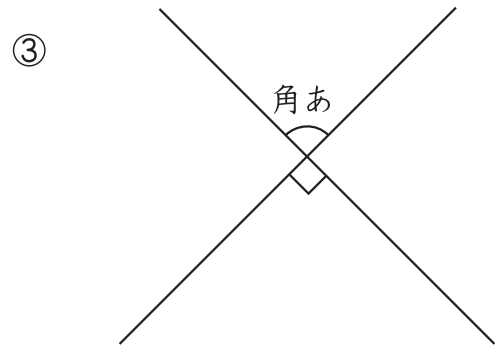
② 左ページの角度のきまりをいかして、①～④の図の「角あ」の角度を求めましょう。



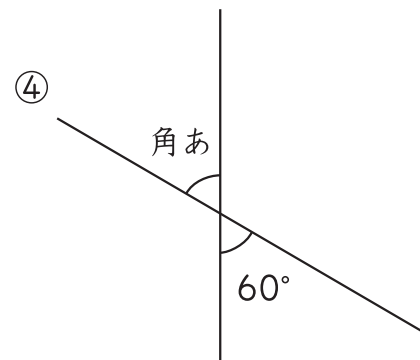
角あ = °



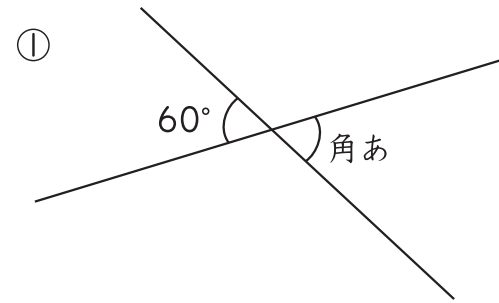
角あ = °



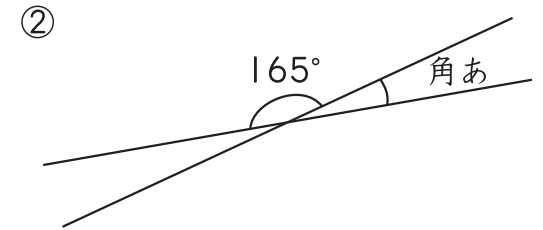
角あ = °



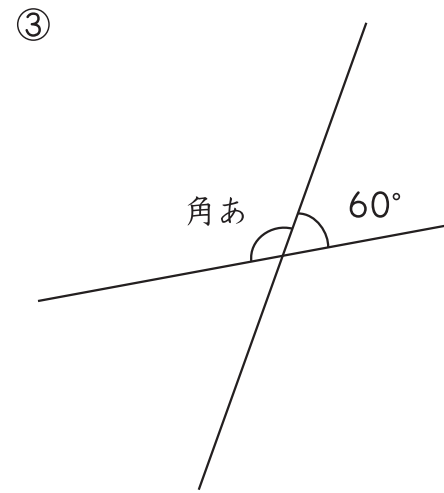
角あ = °



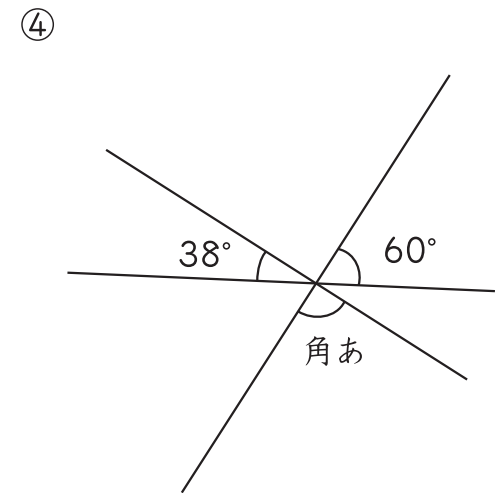
角あ = °



角あ = °



角あ = °



角あ = °

対頂角の学習です。交わった2本の直線において、向かい合う角の角度は必ず等しくなります。このきまりを使って、角度を求める練習をしましょう。②の①～④は、直線が180度であることを利用して、角度を考えましょう。

千万までの数は、三年生で習ったよ。  
ここでは、千万までの数のことをしっかりおさらいしておこう。

① 小さい位くらいから、位どりの読み方を漢字で書きましょう。

千 せん まん	百 ひゃく まん	十 じゅう まん	万 まん	千 せん	百 ひゃく	十 じゅう	一 いち
の位	の位	の位	の位	の位	の位	の位	の位

② 次の数を見て、何の位か漢字で書きましょう。

7	9	3	6	2	5	8	4
↑	↑	↑	↑				
千万	十万	千	十				
の位	の位	の位	の位				

① 上の数の 一万の位の数字を書きましょう。

6

② 上の数を全部漢字で書きましょう。

七千九百三十六万二千五百八十四

③ 次の数を読んで、漢字で書きましょう。

千万	百万	十万	万	千	百	十	一
----	----	----	---	---	---	---	---

①

5	9	2	7	4	3	6	8
五千九百二十七万四千三百六十八							

②

1	9	3	5	4	8	0	0
千九百三十五万四千八百							

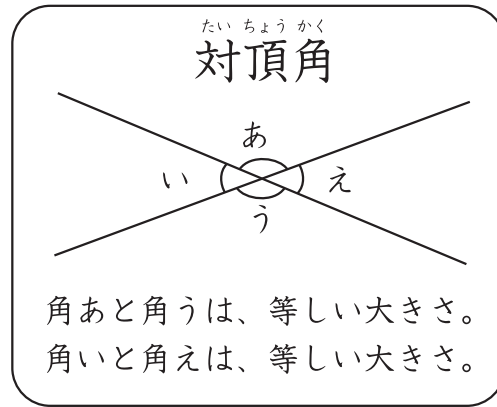
③

5	0	3	8	0	0	4	6
五千三十八万四十六							

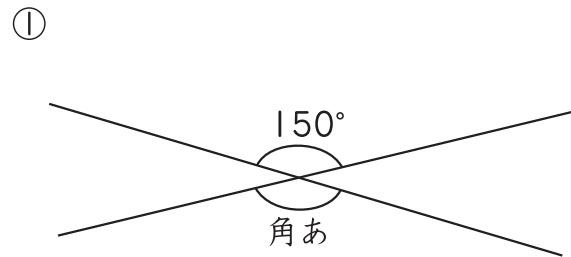
④

1	0	0	4	3	5	0	7
千四万三千五百七							

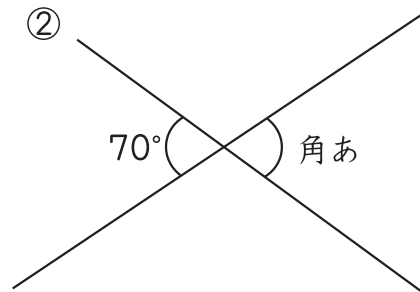
① 右の図のように、直線が交わっていくつかの角ができるとき、向かい合う角の大きさは等しいというきまりがあります（この向かい合う角を対頂角といいます）。これをもとに、次の①～④の図の「角あ」の角度を求めましょう。



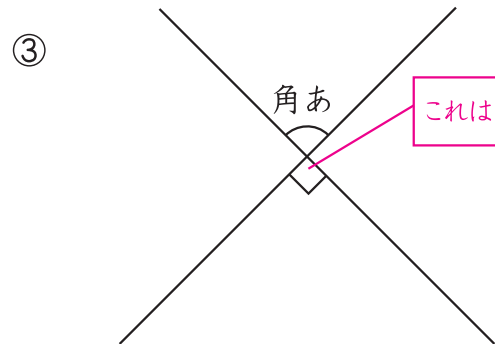
② 左ページの角度のきまりをいかして、①～④の図の「角あ」の角度を求めましょう。



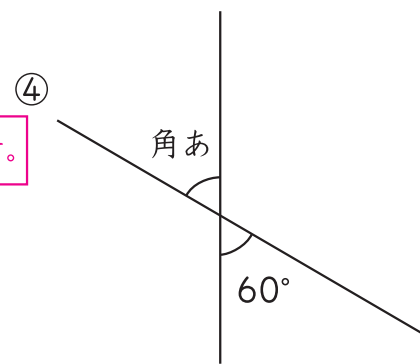
角あ = °



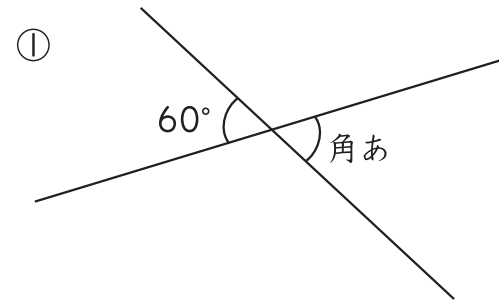
角あ = °



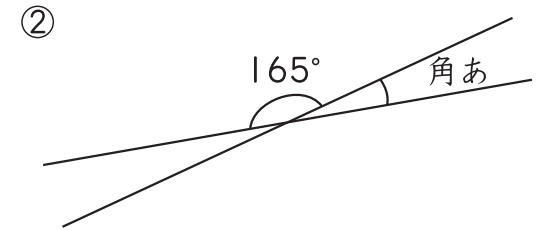
角あ = °



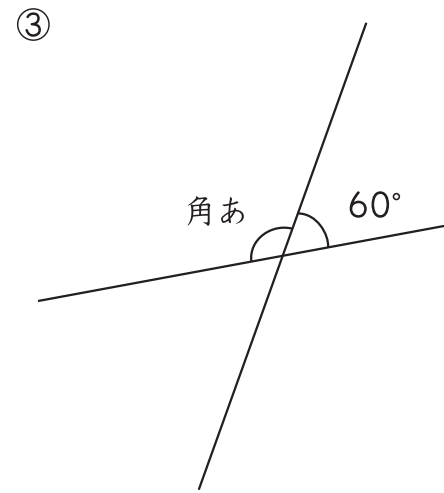
角あ = °



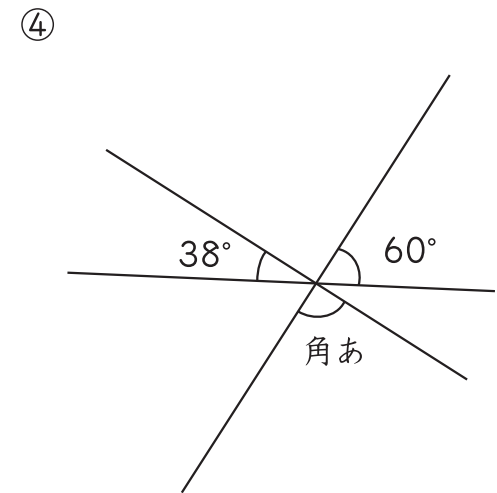
角あ = °



角あ = °



角あ = °



角あ = °

対頂角の学習です。交わった2本の直線において、向かい合う角の角度は必ず等しくなります。このきまりを使って、角度を求める練習をしましょう。②の①～④は、直線が180度であることを利用して、角度を考えましょう。